

日本小児循環器学会 2016年度第4回最終理事会議事録簡易版

日時：平成29年7月6日（木）12:00～14:30

場所：アクトシティ浜松研修交流センター401 研修室

議 事

I. 開会

- ・理事総数20名のうち19名の出席があり、定足数を満たすことから理事会が成立し、開会となった。
- ・議長：安河内聡理事長、議事録署名人：市川肇理事、市田露子理事

II. 報告事項

<理事長報告>：安河内聡理事長

1. 物故会員への黙祷

物故会員として森彪先生、伊熊正光先生、高永煥先生、佐地勉先生、塩川祐一先生のご氏名が読み上げられ、黙祷が捧げられた。

2. 定款変更について

東京都に申請した会員規定に関する変更が3月31日に受理された旨、報告がされた。

<2016年度持ち回り理事会報告>

第1号議案：個人情報保護法に対するパブリックコメントの提出について

安河内聡理事長より、個人情報保護法に対するパブリックコメントの共同提出について提案されたが、理事全員の承認が得られず否決された。

第2号議案：名誉会員・特別会員の推薦について

安河内聡理事長より、名誉会員（7名）、特別会員（23名）の推薦が提案され、全会一致で承認された。

第3号議案：功労賞の推薦について

顕彰委員会委員長の小山耕太郎理事より、功労賞として加藤裕久先生、八木原俊克先生の推薦について提案され、全会一致で承認された。

第4号議案：特別功労賞について

安河内聡理事長より、故佐地勉先生に対する特別功労賞の授与について提案がされ、全会一致で承認された。

第5号議案：IMPELLAの適正使用に係る施設基準案について

安河内聡理事長より、IMPELLAの適正使用に係る施設基準案について提案され、全会一致で承認された。

第6号議案：小児医薬品開発ネットワークへの協力依頼

安河内聡理事長より、日本小児科学会からの小児医薬品開発ネットワークへの協力依頼について提案され、全会一致で承認された。

<2016年度要望書提出状況報告>

- ・コンクレストバルーンカテーテル安定供給要望（9月・JPIC合同・厚生労働省へ）
- ・専門医制度委員会委員参加要望（11月・日本循環器学会へ）
- ・学校安全情報と研究データの共有要望（11月・日本スポーツ振興センターへ）
- ・EXCOR 保険償還点数改訂要望（1月・VAD協議会として・厚生労働省へ）
- ・ジョイントセッション開催要望（2月・日本循環器学会へ）
- ・VAD協議会内 IMPELLA 部会設置要望（4月・日本循環器学会/ VAD協議会内へ）

<学術集会報告>

- ・第53回学術集会会長の坂本喜三郎会長より、開催にあたっての会員からの協力に対し、謝辞が述べられた。
- ・第54回学術集会会長の富田英会長より、テーマ、企画案などの開催概要について説明がされた。
- ・第52回学術集会会長の小川俊一会長（代理：深澤隆治学術集会事務局長）より、会計の最終報告と謝辞が述べられた。

<各委員会報告>

1. 総務委員会：富田英理事

1-1 会員動向について

- ・会員数（正会員、名誉会員、特別会員、賛助会員）の報告がされた。

1-2 web siteにおける情報公開・情報発信の方針について

- ・患者会、家族会などの意見も反映し、市民に親しみやすいHPになるよう検討する旨、報告がされた。

1-3 学術集会コンベンション業者入札について

- ・2社に絞って検討を進めている旨、報告がされた。会社の実績と安定性、担当者を含む事務運営の人員、開催予定地の実績を評価できるように情報を集めていくこととなった。

2. 学術委員会：小山耕太郎理事

2-1 学術・国際交流委員会

2-1-1 AEPC およびAHA との若手研究者交換留学について

- ・現時点でAEPC 2人が未到着であり、AHA 側からも派遣者の連絡がない旨、報告がされた。先方の若手研究者が日本に留学しやすい期間として、10月～4月の期間から10～9月の期間に契約を変更する旨、説明がされた。

2-1-2 海外学会とのジョイントセッションについて

- ・AHA2017におけるジョイントセッションとして「川崎病」をテーマに話が進んでいたが、先方の都合でキャンセルしなければならなくなり、代案として「Genetics and Molecular Mechanism of Pediatric Cardiovascular Disease」をAHAに再申請し採択された旨、報告があった。日本からの演者として横山詩子先生、市田路子先生が講演する旨、報告がされた。

2-1-3 学会賞受賞者について

- ・各学会賞受賞者を選出した旨、報告がされた。選考のスケジュールを早めて欲しい旨の意見が出され、受理された。

2-1-4 次期学術委員会体制について

- ・次期理事会、学術委員会への申し送りとして学術委員会の内部の委員会の業務を整理している旨、報告がされた。

2-2 教育委員会：鎌田政博理事

- ・教育セミナーはベーシック、アドバンス共に複数年計画として内容を決めてきた旨、説明がされた。GSK社への医学教育事業支援事業申請については申請書を提出済みであり、9月に結果が出る旨、報告がされた。

3. 編集委員会：白石公理事

- ・英文誌の第1号が発刊となった旨報告があり、会員からの協力を謝辞が述べられた。
- ・小児循環器学テキストについては原稿の回収中であり、2017年度中の発刊を目指して校正を進めていく旨、報告がされた。

5. 医療安全委員会：鈴木孝明理事

- ・外部機関からの事故調査委託の規約を策定し、2年間で3施設からの依頼があり、外部委員として5名を選出した旨、報告がされた。
- ・学会を窓口にして、調査報酬は相手側から学会に振り込み、外部委員には学会からの支払いとしたいが、個人との折衝になっている旨、報告がされた。学会が窓口となるためには、依頼する委員のコンセンサスと相手側の理解が必要となる旨、説明がされた。

6. 保険診療・臨床試験委員会報告：三浦大委員長 代理：安河内聰理事長

- ・ニトロプルシッド使用実態調査が控えているが、臨床研究啓発活動、特別講演、臨床研究など今後もレベルアップを図っていく旨、報告がされた。

7. 社会制度委員会報告：賀藤均理事

- ・第二次および第三次難病指定申請が終了し、先天性心疾患がほぼカバーしている旨、報告がされた。また、小児慢性疾患電子登録システムが完成間際である旨、報告がされた。

III. 審議事項

第1号議案：理事選挙結果と新理事について

安河内聰理事長より、理事選挙結果の報告と、選挙当選理事による推薦理事の報告がされ、全会一致で承認された。

当選：市川肇、岩本眞理、小山耕太郎、坂本喜三郎、白石公、住友直方、先崎秀明、富田英、三谷義英、安河内聰、山岸敬幸、山岸正明

推薦：赤木禎治、賀藤均、土井庄三郎、野村裕一、檜垣高史、三浦大、芳村直樹（敬称略）

第2号議案：新理事長、新副理事長について

安河内聰理事長より、新理事長に坂本喜三郎、副理事長に安河内聰が推薦された旨報告がされ、全会一致で承認された。

第3号議案：監事候補について

安河内聰理事長より、新監事に市田路子、角秀秋、中西敏雄が推薦された旨報告がされ、全会一致で承認された。

第4号議案：庶務候補について

安河内聰理事長より、新庶務に犬塚亮、塩野淳子が推薦された旨報告がされ、全会一致で承認された。

第5号議案：評議員新規申請と更新について

総務担当の富田英理事より、17名から評議員の新規申請がされた旨の報告があり、全会一致で承認された。

第6号議案：2016年度決算について

財務担当の山岸敬幸理事より、会計資料に基づき2016年度決算の報告がされ、中西敏雄監事、佐野俊二監事により会計は適正と判断されたことが報告され、全会一致で承認された。

第7号議案：2017年度予算案について

財務担当の山岸敬幸理事より、会計資料に基づき2017年度予算案の報告がされ、全会一致で承認された。

第8号議案：理事のCOIについて

利益相反委員会委員長の野村裕一理事より、理事の利益相反に関する自己申告書の確認方法の提案がされ、全会一致で承認された。

IV. 閉会

- ・以上をもって議事が終了し、議長より閉会が宣言された。

以上